

コミ協だより

はくさん



2016.1月 創刊号

特集 防災について考える

海拔シート

ハイパー＆ジュニアレスキュー講習会

防災無線

白山小学校避難訓練

被災地視察研修会

大切な命を守るために

防災の自助とは、災害が起きた時どこに逃げたら良いのかを
常に家族内で話し合っているからこそ、実行できる事だと思います。



撮影場所：りゅーとぴあ展望回廊より白山小～白山校区コミュニティエリアを望む

白山校区コミュニティ協議会は、町内会・自治会の住民の生活環境と安心安全を考え、新潟市・中央区・警察署・消防局及び消防団・社協・赤十字等諸団体の窓口として、地域の課題や問題点を協力して取り組む活動を行っております。また、白山小学校・白新中学校の将来ある児童と生徒の安全と育成活動を、学校を通じてサポートしております。



白山校区コミュニティ協議会

会長 小林 直毅

広報誌創刊にあたり

この度、白山校区コミュニティ協議会よりコミ協だより「はくさん」の創刊号が発行される運びとなりました。平成19年1月より白山校区コミュニティ協議会発足以来、各部会が連携し協力し合い8年間が過ぎました。これからも地域の皆様との絆を強く意識をしながら、役員共々活動してまいりたいと考えております。今後とも、当コミュニティ協議会の活動に、御理解と御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

白山校区コミュニティ協議会

平成27年度おもな行事

- 5月 お茶の間講習会
- 6月 白山小避難訓練(地震) 参加
- 7月 ふれあいお茶の間
- 7月 防火・防犯子供パトロール
- 8月 住吉まつり
- 9月 敬老会
- 10月 被災地視察研修会
- 10月 白山小避難訓練(不審者) 参加
- 11月 ふれあいお茶の間
- 11月 防犯講習会



白山コミ協主催の敬老会が、ホンマ健康ランドで開催されました。88名のご参加をいただき、ご近所さん同士や懐かしい地域の方々と、食事お酒等で楽しいひと時を、過ごしました。コミュニティハウスの教室の皆さんによるフラダンス・民謡の鑑賞で、さらにお酒がすすみました。



白山小学校

校長 逢坂 健太郎

防災について

白山小学校では、年3回の避難訓練を実施しています。6月の地震・津波・洪水対応と10月の不審者対応訓練の際には、地域の皆さんからもその様子を見ていただきました。また、春の集団下校訓練では「海拔シート」を子供たちに示していました。これらの避難訓練の目的は「自分の命は自分で守る」意識の高揚と、どのように行動したらいいかを経験によって理解することです。「百聞は一見に如かず、百見は一試に如かず」何度も説明を聞くより、実際に自分の目で見て確かめた方が、さらに自分の手や体を使って実際に試行した方が、子供たちはよりよく理解でき、安全な避難行動を修得できます。これからも災害の発生に伴う危険を理解・予測し、一人一人の子供が自らの安全を確保するため行動できるように取り組んでいきます。

「災害は忘れた頃にやってくる」ものです。今後も子供たちの意識を高めると共に、地域の皆様との連携・協力を強固にしていきます。



参加者のカラオケ競演も行われ、最後は空くじなしの参加者全員によるじゃんけん大会と、笑いと拍手のなか敬老会は終了しました。

今年度も敬老会等のコミ協行事にご参加、ご協力いただきありがとうございました。

防火・防犯パトロール 子供B・B隊が町をゆく

7月25日
PM6:30

私たちの町の安全を守るために、子どもたちと一緒にパトロールを行いました



火の用心！カチカチ
さあ出発しよう！



白山公園

「火の用心・戸締り用心・火の用心」
かけ声になれてきたね



白山神社



今年の夏、子どもたちの元気な声が聞こえましたら、応援をよろしくお願いします。
たくさんの仲間の参加をお待ちしております。

特集 防災について考える

海拔シートって知っていますか？

海や川の水面から、今いる場所が何メートルの高さかを「海拔○○m」と知らせるシートです。

白山校区の電柱などに25枚貼ってあります

どこに貼ってあるかな?
上下校時に探してみてね！

⚡ 6mの津波警報がでたら! ⚡



6m - 海抜1m
||
5m



5m以上の高台か近くの3階以上の耐震建築物に、避難することが大切な命を守ることになります。

家族で事前に話し合って、待合場所を決めておいてください。

中越大震災被災地への視察研修会

新潟市からの助成金で10月18日に実施しました。

平成16年10月23日17時56分、大地がグラリと揺れた。中越地震である。

本県では、「新潟県中越大震災」と命名した。

マグニチュード6.8、最大震度は7(日本最大川口町)が記録された。



白山コミ協では、今年度の防災訓練の代わりにこの地震の被害、避難、復興の様子と、併せて二度の水害を経験した三条市の「水防学習館」で勉強すべく、自治・町内会に呼掛けて43名の参加者でこの研修会を実施しました。



田中氏の講演を熱心に聴く
参加者。



水害の恐ろしさを体験。備えの必要性を勉強させられた。



地震発生、普段からのそなえ、リーダーの役割、お年寄りの救助ヘリコプターによる救助活動、全村避難、復興、未来への夢を語っていただいた。

防災用無線機が災害時に役立ちます



ハイパー＆ジュニアレスキュー講習会

白新中学校の生徒と先生及びコミ協の防災委員が参加しました。



ジュニアレスキュー隊育成講習会
救急処置等の訓練を学習しました

ハイパーレスキュー講習会
避難所設営の訓練を実施しました

白山小学校では防災・防犯教育の一環として 3つの避難訓練を実施しています

避難訓練 火災

4月24日

校内で火災発生時、どのように避難するかを訓練しました。通報を正しく聞き（何が起きたのか、どこへ避難するのか）、ハンカチで口を押さえて移動する等、安全で早く避難する方法を学びました。防火扉の仕組みや危険箇所についても確認しました。

避難訓練 地震

6月16日

午後1時02分市内の小・中学校一斉に地震発生・津波からの避難、保護者への引き渡しの訓練が、地域の方々も参加して行われました。



地震発生



屋上に避難

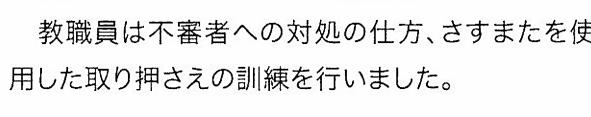


保護者へ引き渡し

避難訓練 不審者

10月19日

市役所前交番の方に来ていただき、不審者が校内に侵入したことを想定した避難訓練を実施しました。子供たちは、「避難時の合言葉」を念頭に行動すること、さらに校外での不審者からの身の守り方を学習しました。



教職員は不審者への対処の仕方、さすまたを使用した取り押さえの訓練を行いました。

編集後記

気軽に読んでいただける生活に役立つ紙面づくりを目指し、検討を重ねようやく「コミ協だよりはくさん」第1号を発行する事が出来ました。広報誌の特集記事が、家族だんらんの会話のテーマになれば幸いです。白山校区の住民のみなさんと広報活動を通じて絆を深めていきたいと思っています。次回は「お祭り」特集を考えておりますのでお楽しみに。

編集局長 三國 和俊

発行：

白山校区コミュニティ協議会 会長 小林 直毅
新潟市中央区本町通1番町168-2 TEL & FAX
白山コミュニティハウス内 025-228-1510

編集局：

三國 和俊・山崎 一夫・小泉 正
志賀 美千代・小林 栄子・金子 朋子
質問や要望がある方は、気楽にご連絡ください。